



新型コロナに感染！！

ホテル療養中に倒れるも無事回復

家族に新型コロナウイルス感染症患者が出て、濃厚接触者になって、あと3日で解放されると思った5月3日に38℃台の発熱。保健所の指示で近くの病院で抗原検査をしたところ、見事に陽性反応が出て、新型コロナウイルス感染症患者となってしまいました。

1週間前に行ったPCR検査が陰性で喜んでいたのが、一転して陽性に、まさに天国から地獄。この1週間は何だったのかというタイミングの悪さにもはや笑うしかありませんでした。

翌日、4日からホテル療養生活に入りましたが、熱も下がっていたので、このまま何事もなく予定された10日間が過ぎていくものだと思っていました。しかしながら…そうは問屋が許さなかった。翌朝、エレベーター内で意識を失い転倒。近くの病院に救急搬送されてしまったのです。

倒れた際に全身を強打したのか。体が動きません。特に左手に至っては、完全にマヒしていて感覚すらありません。正直、この時、半身不随の生活を覚悟しました。スタッフのみなさんが、慌ただしく救急車の手配などを行っているのをぼーっと聞きながら、これからのこと。不自由な体で何ができるか考えていました。いま考えると不思議と前向きでした。

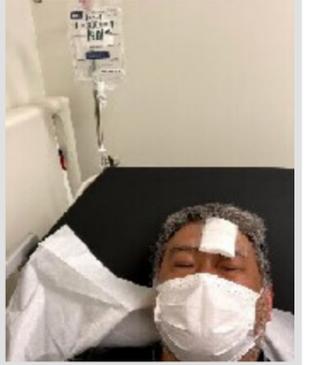
病院では、脳障害の疑いがありということで、CT、MRIの検査。そして、コロナ患者ということもあって肺のレントゲンや心電図などいくつ

かの検査を受けましたが、脳に関しては特に異常なし、肺も若干肺炎らしき所見があるも急激に悪化する可能性は低いという診断でした。

幸いその時には、痛みはあるものの左手の感覚も戻ってきていたこと、そして何よりも、重症患者のために病床を空けておきたいという理由もあって、ホテルに戻ることになりました。

ホテルの戻ってからは、体、特に両肩から腕の痛みとの戦いでした。私が住む神奈川県は外部からの差し入れは禁止されていて、（他の自治体によっては差し入れがOKのところもある）唯一、市販の医薬品だけはネットスーパーで買い物することができました。そこで、湿布薬を買って、痛みに対処しました。ちなみに、熱は次の日には下がっていましたから（血中酸素濃度も同様）、コロナとの戦いはその時点で事実上終わっていたといってもいいでしょう。その後は、症状の変化はなく、退所予定日の14日には無罪放免、ホテルを出ることができました。

ホテル療養を終えて、ちょうど1ヶ月になります。いまでも腕の痛みなどが若干残っていますが、生活には支障はありません。場合によっては失っていたかもしれない命です。コロナ感染した経験を糧にして、これからも笑顔と感謝で活動していきます。今後とも宜しくお願い致します。



経済界倶楽部例会報告

経済界倶楽部の東京6月例会が6月3日にありました。

講師は、テラドローン株式会社代表取締役社長の徳重徹さん。

テーマは「次々に新事業を生み出すテラグループの経営戦略と人材育成」でした。

徳重さんは、テーマにあるようにこれまで電動バイクのベンチャー企業の立ち上げやドローン事業のベンチャー企業の立ち上げと今までの日本にはなかった新事業の創立に携わり、カタチにしてきました。

なぜ、新事業をカタチにすることができたのか。そこには、新事業を取り組むうえでの心構えのようなもの

があると感じました。

徳重さんは「新事業は神の領域」だといっていました。

新事業はもともと成功する確率が低く、スタートアップが盛んなアメリカでさえ1000社のうち上場できるのは2社か3社ぐらいだといわれています。ほとんどのスタートアップ企業が生まれては消えていく。それが現状です。

ただでさえ成功確率が低いうえに、ましてやスタートアップにまだ懐疑的な日本です。ほとんどの人、特に一世代前の人たちは、新事業に対してそんなことは無理だといって、はなから挑戦しないだけでなく否定的

で、協力的ではありません。そんな状況もあって、これまで挫折と正念場の連続だったと徳重さんは言っていました。

そんな中で、結果を出してこられたのは、「挫折を繰り返すと執念が生まれる」というこれまでの日本人にはなかった事業に対する考え方があったからだと思います。

徳重さんは何もやみくもに無謀な挑戦をしていうわけではありません。リスクをしっかりと考えた上で、大胆に行動をしていく。それを支えているのが“執念”なのです。そしてこのトップの考え方、行動が、徳重さんの率いる部隊の強みになっています。

徳重さんはいいました。「わが社は“人をつくる会社”です」。

講演の中で、いくつもの挫折を乗り越えて今では会社を支える存在となっているスタッフを数人紹介していましたが、その時の自慢げで嬉しそうな表情はとても印象的でした。

挫折や修羅場が人を成長させるということは頭ではわかっていますが、あえてそのリスクを冒す人はそう多くはありません。それは、失敗することの恐れもありますが、リスクを避けることが能力の高さであり賢い生き方だという減点主義的な日本社会の風潮からきているように思います。そんな日本的常識をぶち壊す戦略を実行したまさにクレイジーな徳重社長に脱帽です。

※ファイブ・ケイ・プロは経済界倶楽部のビジネスパートナーです。

編集後記

我が家にもコロナの波がやって来ました。と書いた前号の編集後記。その数日後にまさか新型コロナウイルス感染症の患者になるとは思っていませんでした。

PCR検査で一度陰性が出て、厚労省がいう14日間は油断ができないということを今回のことで実感しました。今回は、私自身が体験した新型コロナ療養記の一部を紹介しました。これについては、私のアメブロ「KeigoのLaughstyle」にも書いてありますので、お時間があれば読んでみてください。コロナ禍での何かの参考になれば幸いです。感謝

加藤佳悟

FKP
INFO

『私は万病でも水素で治します。』 出版記念講演&出版記念パーティー

世界的遺伝子学者で医学博士の、白川太郎先生が新著「私は水素で万病でも治します」を出版。その出版を記念した「白川太郎出版記念講演会」と「出版記念パーティー」が2021年7月20日に開催されます。

講演会には、白川太郎先生の他に「ホリスティック医学」の第一人者である帯津良一先生と「水素サプリメント」の第一人者である川畑秀雄会長が登壇、ここでしか聞けない貴重な話を聞くことができます。

出版記念パーティーには、多くの著名人が参加。また伝説の深夜番組「11PM」のレポーターであり、現在は歌手として活躍している清水節子さんと、皆様ご存知の日本

を代表する「世界のハリウッドスター」であり、現在は厚生労働省及び千葉市の「健康大使」を務められている千葉真一さんのディナーショーも予定されています。

さらに、出版記念パーティーの参加者には参加者限定プレゼントの特典付きというから、水素に関心のある方にとっては、学び、楽しみ、体感できる充実した一日となること間違いありません。

・2021年7月20日(火)
・横浜ロイヤルパークホテル 3F「鳳翔」



イベントの詳細や参加申込はイベントサイト(QRコード)にて。